

PMBOK®ガイド第3版和訳版正誤表

PMIは、PMBOK®ガイドのErrataの内容、および日本語表記の誤りをPMBOK®ガイド日本語版に反映しました。お持ちの図書が、変更前のものであるか、変更後のものであるかは、以下を目安にご確認下さい。

【変更後】 P70表3 - 45の表中にある知識エリア、「4.プロジェクト統合マネジメント」

【変更前】 P70表3 - 45の表中にある知識エリア、「4.プロジェクトマネジメント統合」

図書変更箇所

該当箇所	節	誤	正
P19 本文上から12行目	2.1プロジェクト・ライフサイクルと組織	母体組織日常的に	母体組織が日常的に
P19 本文下から2行目	2.1.1プロジェクト・ライフサイクルの特性	プロジェクト・マネジメント・プロセス・グループ	プロジェクトマネジメント・プロセス群
P31 本文上から2行目	2.3.3組織構造	併せもつた組織	併せもった組織
P37 本文上から8行目	第3章序文	・プロジェクト目標を満たすために必要な、プロジェクトマネジメント・プロセス群(プロセス群とも呼ばれる)の中からプロセスを選択する。	・プロジェクトマネジメント・プロセス群(プロセス群とも呼ばれる)の中からプロジェクト目標を満たすために必要とする適切なプロセスを選択する。
P38 本文上から23行目	第3章序文	成果物プロセス	成果物指向プロセス
P39 本文下から3行目	3.1プロジェクトマネジメントプロセス	デミングにより改訂されたもの、	デミングが改訂した。
P51 本文上から5行目	3.2.2.10 コスト見積り	コストの概算を作成する	コストを概算する
P65 本文下から2行目	3.2.4.12契約管理	購入者(例:購買部門)との	購入者との
P70 表3-45のなか	3.4プロジェクトマネジメントプロセスの分類	4.プロジェクトマネジメント統合	4.プロジェクト統合マネジメント
P70 表3-45のなか	3.4プロジェクトマネジメントプロセスの分類	プロジェクト・マネジメント計画書	プロジェクトマネジメント計画書
P83 本文上から5行目	4.1.1.2プロジェクト憲章作成のイン	立上げフェーズ	立上げ段階
P83 本文上から6行目	4.1.1.2プロジェクト憲章作成のイン	後のフェーズ	後の段階
P97 本文上から2行目	4.6統合変更管理	更新を行う。	更新を行うこと。
P111 本文下から3,2行目2箇所	5.2.3.1スコープ定義のアウトプット	制約条件	前提条件
P114 図5-6のなか左下	5.3.2.1ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャーのテンプレート	ワーク・パッケージ 2.2.2.2	ワーク・パッケージ 2.2.1.2
P114 図5-6のなか左下	5.3.2.1ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャーのテンプレート	ワーク・パッケージ 2.2.2.3	ワーク・パッケージ 2.2.1.3
P123 フッター		3版	第3版
P126 図6-2のなか	第6章序文	リスク・マネジメント計画 11.2-11.5 (3.2.2.15)	リスク・マネジメント 11.2-11.5
P128 本文下から7行目	6.1.2.3ロ-リンク・ウェーブ計画法	(第1.2.1.3節)	(第1.2.1.3節)
P129 本文上から10,12行目2箇所	6.1.2.5計画構成要素	計画用構成要素	計画構成要素
P134 本文上から6行目	6.2.2.4依存関係の決定	ベストプラクティス	ベスト・プラクティス

該当箇所	節	誤	正
P145 本文3～7行目	6.5.2.1スケジュール・ネットワーク分析	この分析では～…………… ～……………さまざまな分析法を用いる。 の部分进行全面差し替え。	この分析ではスケジュール・モデルとクリティカル・パス法、クリティカル・チェーン法、What-if分析法、資源平準化などのさまざまな分析法を用いる。そして、最早と最遅の開始日および終了日を計算したり、まだ完了していないスケジュール・アクティビティについて予定の開始日と終了日を決める。
P165 本文上から2行目	7.1.2.2資源単価	見積りを行う個人	単価を決めたり、見積りを行ったりする個人
P165 本文上から4行目	7.1.2.2資源単価	価格を知る	単価を知る
P165 本文上から5行目	7.1.2.2資源単価	価格の増加要因と標準価格	単価の増加要因と標準単価
P165 本文上から6行目	7.1.2.2資源単価	資源の価格	資源の単価
P165 本文上から7行目	7.1.2.2資源単価	実際の価格……、価格自体	実際の単価……、単価自体
P167 本文上から13行目 2カ所	7.1.3.3要求済み変更	変更済み要求	要求済み変更
P172 本文下から4行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	予算の割合で、完了した作業の予算コストの累積値	予算の割合で計上した完了作業の予算コスト
P172 本文下から3行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	予定した作業	予定作業
P172 本文下から3行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	完了した作業	完了作業
P173 本文上から7行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	ある特定の時点までに	ある特定の時点までにを削除
P173 本文上から10行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	ある特定の期間において	ある特定の期間においてを削除
P173 本文上から11行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	ある特定の期間において	ある特定の期間においてを削除
P174 本文上から1行～4行目	7.3.2.2パフォーマンス測定分析		累積CPIの説明の段落の削除
P174	7.3.2.2パフォーマンス測定分析	スケジュール効率指数(SPI)の説明段落と 図7-7に、Sカーブ。。。の間に一文を挿入	ブランド・バリュー(PV)、アード・バリュー(EV)、および実コスト(AC)のパラメータは、期間ベース、累積ベースのどちらでも報告され、使用される。これによって、コスト差異(CV)、コスト効率指数(CPI)、スケジュール差異(SV)、およびスケジュール効率指数(SPI)などの手段も、期間ベース、累積ベースのどちらでも作成し、使用することが可能となる。
P175 本文上から1行目	7.3.2.3予測	(ACC)、累積CPIC	(AC)、CPI
P175	7.3.2.3予測	累積を表す上付きC	すべて削除
P176	7.3.2.3予測	累積を表す上付きC	すべて削除
P205 本文下から12行目	9.1.2.1組織図と職位記述書	ワーク・パッケージ分割	ワーク・パッケージまで分割
P226 本文下から15行目	10.1.2.1コミュニケーションに対する要求事項の分析	目標	指標
P256 図11-10のなか	11.4.2.1データ収集表現技法	41ドル	41百万ドル
P258 図11-12のなか	11.4.2.2定量的リスク分析とモデル化の技法	「\$nn」をすべて	「\$nnM」に変更
P259 図11-13のなか	11.4.2.2定量的リスク分析とモデル化の技法	図の縦軸の単位がない	(%)を追加
P259 図11-13のなか	11.4.2.2定量的リスク分析とモデル化の技法	図の横軸の単位がない	(百万ドル)を追加

該当箇所	節	誤	正
P259 本文下から6行目	11.4.3.1リスク登録簿(更新版)	9ドル(50-41ドル)であり、……41ドル	9 百万 ドル(50-41 百万 ドル)であり、……41 百万 ドル
P271 本文上から7行目	第12章序文	元請け、 コントラクター 、調達組織	元請け、調達組織
P297 本文下から5行目	12.1.3.1調達マネジメント計画書	要素成果物受入	要素成果物受 入れ
P302 本文下から7,8行目	付録A-補助プロセスおよびコア・プロセス表示の廃止	図の番号を右記のように変更	図3-5 3-6、図3-6 3-7、図3-7 3-8、図3-8 3-9、図3-9 3-10
P350 本文16行目	Sカーブ	16行目と17行目の間に右記の文章を追加	プロジェクト作業のプランド・バリュー、アーンド・バリューおよび実コストを表示するために使われる。
P351 本文23行目	アーンド・バリュー法	WBS構成要素、コントロール・アカウント、またはプロジェクトの作業のパフォーマンスを測定する特定の技法の1つ。アーニング規則、またはクレジット法とも呼ばれる。 A specific technique for measuring the performance of work for a work breakdown structure component, control account, or project. Also referred to as the earning rules and crediting method.	作業のパフォーマンスを測定する特定の技法の1つで、プロジェクト作業のプランド・バリュー、アーンド・バリュー、および実コストを表示するために使われる。 A specific technique for measuring the performance of work and used to depict planned value, earned value, and actual cost of project work..
P357 本文下から5行目	完成時総予算	予算額	予算
P357 本文下から3行目	完成時総予算	budget values established	budgets established
P370 本文上から13-15行目	コントロール・アカウント	コントロール・アカウントは、…… ……コントロールを行うポイントである。 A management control point where the integration …………… ………performance will occur.	コントロール・アカウントは、 そこでスコープ、予算、資源計画、実コスト、スケジュールを統合し、アーンド・バリューと比較してパフォーマンス測定を行うマネジメント上のコントロールを行うポイントである。 A management control point where scope, budget, resource plans, actual cost, and schedule are integrated and compared to earned value for performance measurement.
P377 本文下から9行目	実コスト	一定の期間内で during a given time period	一定の期間内でを削除 during a given time periodを削除
P394 本文下から1-5行目	特定単位作業	特定のワーク・ブレイクダウン・ストラクチャーの構成要素と要素成果物が完結したことを直接特定できる作業で、直接計画し、測定することが可能なもの。 Work effort that is directly identifiable to the completion of specific work breakdown structure components and deliverables, and that can be directly planned and measured.	個別かつ明確に区分された作業で、特定のワーク・ブレイクダウン・ストラクチャーの構成要素と要素成果物を完成するための作業。また、直接計画し、測定することが可能なもの。 Work effort that is separate, distinct, and related to the completion of specific work breakdown structure components and deliverables, and that can be directly planned and measured.

該当箇所	節	誤	正
P397 本文上から15-22行 目	パフォーマンス測定 ベースライン	<p>マネジメント上のコントロールのために、プロジェクトの実行を比較し、逸脱を測定する基準とするプロジェクト作業の承認済み計画。パフォーマンス測定ベースラインにおいては、通常、プロジェクトのスコップ、スケジュール、およびコストのパラメータが統合されるが、技術面のパラメータや品質のパラメータが含まれる場合もある。</p> <p>An approved plan for the project work against which project execution is compared and deviations are measured for management control. The performance measurement baseline typically integrates scope, schedule, and cost parameters of a project, but may also include technical and quality parameters.</p>	<p>スコープ・スケジュール・コストを統合した承認済みのプロジェクト作業計画。その計画に対比して、プロジェクト実行のパフォーマンスを測定し、マネジメントする。技術と品質にかかわるパラメータも含む。</p> <p>An approved scope-schedule-cost plan for the project work against which project execution is compared to measure and manage performance. Technical and quality parameters may also be included.</p>
P403 本文上から9行目	プロジェクト・スコー プ記述書	「達成すべきニース」	「達成すべきこと」